

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		理学療法技術演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	302
担 当 教 員		倉橋 徹(8) 松本 康佑(7)	実務経験と その関連資 格	倉橋:理学療法士として病院に勤務。 松本:理学療法士として回復期病院での経験あり。また、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格を有する。			
《授業科目における学習内容》							
疾患に対する知識や理学療法評価内容を基礎にして、様々な治療アプローチ方法について学ぶ。							
《成績評価の方法と基準》							
筆記試験80%、授業態度20%							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
配布資料 ほか							
《授業外における学習方法》							
事前に指定テキストを読んでおく。配布資料に目を通しておく。							
《履修に当たっての留意点》							
授業中に口頭試問等行う。臨床において重要な手技であり、こまめに確認をしておくこと。							
授業の 方法		内 容			使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	ストレッチの概念・治療原理、注意点、基本手技について学び、 説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	認知運動療法の概論に ついてのテキストの箇所 を読んでおく。	
		各コマに おける 授業予定	アスレチックリハビリテーション(ストレッチング)				
第 2 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	筋トレの概念・治療原理、注意点、基本手技について学び、説 明できるようになる。		テキスト、配布資 料	認知運動療法の脳神経 科学についてのテキスト の箇所を読んでおく。	
		各コマに おける 授業予定	アスレチックリハビリテーション(筋トレ)				
第 3 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	テーピングの概念・治療原理、注意点、基本手技について学 び、説明できるようになる。		テキスト、配布資 料	認知運動療法の脳神経 科学についてのテキスト の箇所を読んでおく。	
		各コマに おける 授業予定	アスレチックリハビリテーション(テーピング)				
第 4 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	PNFの概念・治療原理、基礎について学び、説明できるようにな る。		テキスト、配布資 料	認知運動療法の観察と 病態解釈についてのテ キストの箇所を読んでお く。	
		各コマに おける 授業予定	PNFの概念・治療原理、基礎				
第 5 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	PNFの評価について実施できる		テキスト、配布資 料	認知運動療法の訓練の 構築と介入についての テキストの箇所を読んで おく。	
		各コマに おける 授業予定	PNFに必要な評価				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	PNFの上肢の基本手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	中枢神経疾患の認知運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	PNFの上肢		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	PNFの下肢の基本手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	中枢神経疾患の認知運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	PNFの下肢		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	中枢神経疾患の認知運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技①		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	運動器の認知運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技②		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	運動器の認知運動療法についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技③		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	認知運動療法と道具についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技④		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技について実践できるようになる。	テキスト、配布資料	認知運動療法の実践についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の関節モビライゼーションの基本的な手技⑤		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の各種モビライゼーションについて実践できる	テキスト、配布資料	認知運動療法の実践についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の各種モビライゼーション①		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の各種モビライゼーションについて実践できる	テキスト、配布資料	認知運動療法の実践についてのテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の各種モビライゼーション②		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	徒手療法の各種モビライゼーションについて実践できる	テキスト、配布資料	今まで学んだ認知運動療法のテキストの箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	徒手療法の各種モビライゼーション③		